

報道関係者各位

2014年10月10日

地域の魅力発信・活性化支援プラットフォーム「富士山じかん」を用いた実証実験を推進 —スマートフォンアプリ、カード、iBeaconなどを組み合わせたツールを活用—

慶應義塾大学SFC研究所
富士吉田市
富士吉田みんなの貯金箱財団
富士吉田市地域おこし協力隊

【概要】

慶應義塾大学SFC研究所(所長:小川克彦、担当:玉村雅敏研究室、場づくりマーケティング・コンソーシアム)と、富士吉田市(市長:堀内茂)、一般財団法人・富士吉田みんなの貯金箱財団(富士吉田市の市民財団。代表理事:齊藤智彦)、富士吉田市地域おこし協力隊(担当:齋藤萌)は、市民や地域団体、観光・商工事業者、大学生等が、地域の魅力発信や地域活性化に取り組む際に活用できるプラットフォーム「富士山じかん」を活用する実証実験プロジェクトを推進します。

富士吉田市をはじめとする富士北麓地域は、富士山にまつわる文化や、富士山の恵みや水を活かした産業、富士山の裾野に広がる御師町の景観、昭和の歓楽街の面影を残す街並み、個性豊かな郷土料理や飲食店、暮らす人々の人柄や絆の強さなど、市民が育ててきた様々な魅力があふれています。

こういった地域の魅力発信や、地域協働による活性化活動を支援するために、慶應義塾大学SFC研究所は、富士吉田市の協力のもと、「①富士山じかんアプリ(スマートフォンアプリ)」「②富士山じかんWeb(PCとスマートフォン対応のWebサイトやSNSページ)」「③富士山じかんカード」「④iBeacon貯金箱」「⑤富士山じかんPass(スマートフォンにダウンロードできるPassbookパス)」等の各種ツールを組み合わせたプラットフォーム「富士山じかん」を準備しました。

今後、富士吉田市・富士吉田みんなの貯金箱財団・富士吉田市地域おこし協力隊・慶應義塾大学の学生は連携協力し、市民や地域団体、事業者等に呼びかけ、このプラットフォームを活用し、地域住民や観光客等への情報提供や周遊支援の活動、地域の魅力向上活動の支援を行うための寄付商品の開発活動などに取り組みます。

【ツール紹介】

① 富士山じかんアプリ(スマートフォンアプリ)

[機能] 動画を中心としたスポット情報の検索・登録・投稿・共有

- (1) 探索: 現在地・カテゴリー・目的・コースからスポットを探索機能
- (2) 登録: 各スポットのお気に入り登録機能。Passbook パスのダウンロード機能
- (3) 投稿: ユーザーが撮影したスポット動画の投稿・閲覧機能
- (4) 共有: Facebook にて「お気に入りスポット」の共有機能

[動作環境] iOS6.0以降を搭載した iPhone/iPad ※ Android 版は準備中

App Store にて提供(無料) <https://itunes.apple.com/jp/app/fujisan-jikan/id889799268>

[掲載スポット数] 83(2014年10月1日現在)

※ 初期の掲載スポットは、慶應義塾大学の学生・研究員、市民ボランティア、地域おこし協力隊員による協働調査を通じて収集したものです。今後、適宜、スポットを掲載していきます。

Passbookパスのダウンロードは、財団寄付商品などの準備が整い次第、提供します。

[画面イメージ・利用方法]

ホーム画面

- 登録されている富士山じかんスポットの動画を一覧表示。
- 画面下部の地図上には、スポットの位置とタイプをマーカーアイコンで表示。
- 気になる動画を選択するとスポット詳細画面へ。メニューからは目的に応じた絞り込みが可能。



スポット詳細画面

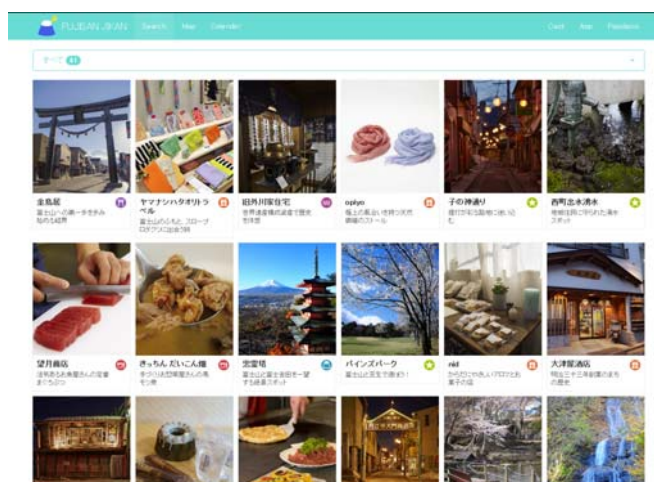
- 動画を大きく表示。画面下部には、スポットの詳細情報を表示。
- 右上のアイコンをタップするとスポットを「お気に入り」に登録できる。
- 「お気に入り」に登録した動画は、お気に入り画面に一覧表示され、ユーザーオリジナルの「富士山じかん」が表現されていく。その内容はFacebookで公開可能。



② 富士山じかんWeb (PC用サイト/スマートフォン用サイト)

[機能] スポットの詳細情報・地図の提供、各種ツール(アプリやカード等)の紹介

[URL] <http://fujisan.sfc.keio.ac.jp/>



※ VineやInstagram等のSNSに対応したページも提供

富士山じかんVine <https://vine.co/u/1128667317316784128>

富士山じかんInstagram <http://instagram.com/fujisanjikan>

③ 富士山じかんカード

[機能]・富士吉田の魅力を表す写真やスポット情報を記した名刺サイズのカード。

・人々が集う拠点に設置した什器で多数配布。カードから見える個々の魅力発見や、カードを選びながら地域で過ごす「富士山じかん」をイメージできるようにする。

[掲載スポット] 67(2014年10月1日現在) ※ 観光(景観・体験・街歩きスポット):26種類、
 買い物(織物、雑貨、おみやげ):16種類、ごはん(食事、食べ歩き):25種類
 ※ カード情報は地域おこし協力隊・齋藤萌さんが収集したものです。

[掲載内容] 表面: 写真、名称、キャッチフレーズ、
 富士吉田みんなの貯金箱財団ロゴ(同財団への寄付を行った事業者に付与)
 裏面: 写真(小)、名称、詳細説明、QRコード(富士山じかんwebの詳細ページへ)

[配布] 什器: 2種類(回転式什器・横置き型什器)
 設置場所(予定):道の駅富士吉田、富士山駅観光案内所、富士五湖文化センター、
 富士山世界遺産インフォメーションセンター等

[配布枚数] 各500枚(10月中旬に什器にカードを配置)

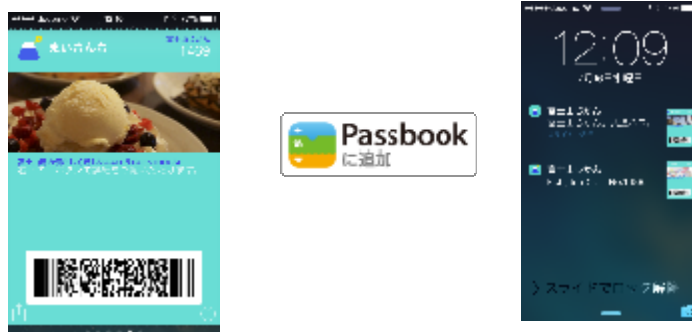


- ④ iBeacon 貯金箱 & ⑤富士山じかん Pass (スマートフォンにダウンロードできる Passbook パス)
- ・富士吉田市内に、iBeacon を内蔵した貯金箱を 200 個ほど設置。
 - (※寄付商品や企画等が準備でき次第、順次設置予定)
 - ・iBeacon 貯金箱は、財団寄付商品を扱うスポットや特色あるスポットに設置し、スポットに近づくとスマートフォンに商品やスポットの詳細情報を表示(※富士山じかん Pass のダウンロードが必要)
 - ・貯金箱は寄付商品の購入時に寄付を受け付けることができる。

[iBeacon 貯金箱]



[富士山じかん Pass]



【「富士山じかん」ツール群を組み合わせた活用イメージ】

「富士山じかん」の活用方法 (例)



ねらい

- テーマ性のあるコミュニティ発の情報を提供
- 興味を促進し、周囲の人へ広める／実際に訪れるきっかけに
- 実際のお店でのコミュニケーション、繋がりの醸成
- アプリでの継続的な情報発信、コミュニケーション、ファンづくり
- ユーザが広く投稿、シェア、交流できる仕組みで新たなコミュニティを形成

効果

- 従来の観光情報とは異なる富士吉田のローカルな魅力への“気づき・きっかけ”づくり
- 情報提供だけでなく、実際の体験やまちの回遊につなげる
- 観光客だけでなく、地域の人にとっても、自分のまちを意識する／知るきっかけに

【財団寄付商品の設定・紹介】

富士吉田みんなの貯金箱財団は、地域団体や事業者との連携・協力のもと、地域の魅力向上活動やまちづくり活動への資金循環の創出を目指し、売上の一部が富士吉田みんなの貯金箱財団への寄付となる商品やメニューなどの開発や提案を行ないます。

寄付商品・メニューの設定店舗には、iBeacon 貯金箱や周知用のPOP・チラシなどの設置や、商品やメニュー、スポットの詳細情報の発信支援等を行い、購買行動や経験向上等を促すことを目指します。

アプリにのせる・カードを作る

- ①お店の一品から「寄付商品」をつくります。
- ②寄付するプロジェクトを選びます。
- ③お店の動画と、寄付商品の写真を撮影します。



※寄付商品とは…購入すると売上金の一部がプロジェクトに寄付される仕組みをもった商品/メニューです。

①

アプリ・カードを使ってもらう

アプリ・カードでお店を探しながら街を歩き、お店の近くを通ると画面に通知が届きます。



【カード】 【アプリ/passbook】 【iBeacon 貯金箱】

②

③



お店に来て、商品を買ってもらう

画面の案内や店頭を設置したPOP・貯金箱を見て、お客さんが寄付商品を購入します。

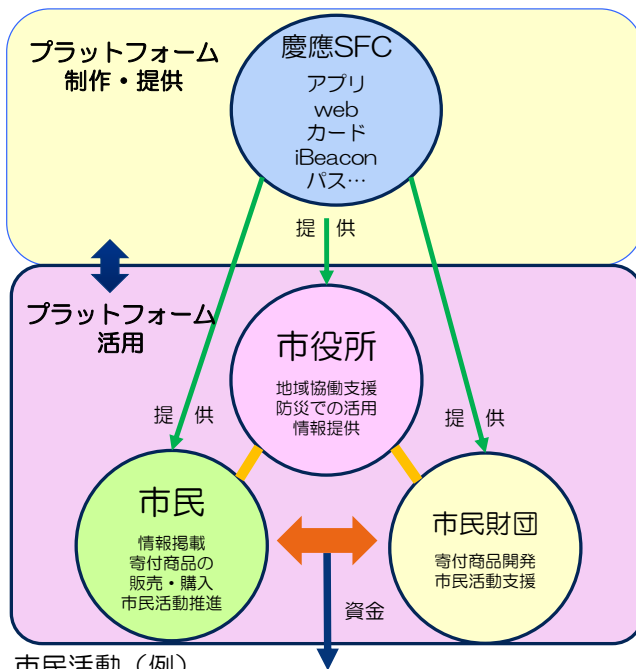
④



寄付を通じて町が元気になる

売上に応じて寄付先のプロジェクトにお金が入り、まちづくりに活用されます。

【富士山じかんプロジェクトの推進体制】



市民活動（例）



市民映画館を作る



空き家リノベーション

慶應義塾大学SFC研究所

＜富士山じかんプラットフォームの提供＞
 アプリ/Web/カード/iBeacon貯金箱/パス等
 ＜活用モデルや知見の提供＞
 地域活性化やソーシャルマーケティング施策の助言。

富士吉田市役所

＜地域協働体制の構築・支援＞
 地域の魅力向上や活性化推進のため活動や支援。
 ＜防災での活用/避難所情報提供＞
 災害時の活用を想定し、一次・二次避難所の情報及び動画の提供。

市民財団

（富士吉田みんなの貯金箱財団）

＜寄付商品開発/市民活動支援＞
 アプリやWeb等のプラットフォームを活用し、
 事業者とともに寄付商品の開発を行い、
 地域内の市民活動とマッチアップさせ
 市民活動に対して資金供給を行う。

市民（地域団体・商工事業者等も含む）

＜情報掲載/寄付商品の販売・購入/市民活動推進＞
 プラットフォームへの情報掲載と、寄付商品の販売、
 商品購買を通じた市民活動への寄付、
 また市民活動そのものの主体となる。

本発表資料に関するお問い合わせ先

慶應義塾大学 SFC 研究所（玉村研究室） E-mail: tama-sec@sfc.keio.ac.jp（担当：菅井）

富士吉田市役所 政策企画課 E-mail: kikaku@city.fujiyoshida.lg.jp

富士吉田みんなの貯金箱財団 E-mail: info@fpbf.jp（担当：齋藤智彦）

富士吉田市地域おこし協力隊 E-mail: contact@fujiyoshida-kyouryokutai.jp（担当：齋藤萌）

代表問い合わせ先 TEL: 03-4590-0444 FAX: 045-330-4343 ※ 折り返しご連絡をします